



地域と
自分に
誇れる
シゴト♡



[協力団体] (順不同)

- ・仙台市老人福祉施設協議会
- ・宮城県老人保健施設連絡協議会
- ・宮城県認知症グループホーム協議会
- ・みやぎ小規模多機能型居宅介護連絡会
- ・宮城県介護福祉士養成施設協会
- ・宮城県介護福祉士会
- ・宮城県看護協会

未来へつながるキャリアデザイン

経営者としての介護職

田中 伸弥さん(35歳)
特別養護老人ホーム
施設長
介護福祉士、社会福祉主事、社会教育主事、児童福祉司任用資格

2003年(22歳)
仙台大学体育学部 健康福祉学科卒業
2004年(23歳)
大学卒業後、介護老人保健施設にて介護職員として勤務。
2006年(25歳)
兄が事故で高次脳機能障害、寝たきりの生活となる。
兄の看病等のストレスも重なり母が倒れ、余命半年との診断。
2007年(26歳)
岩手県盛岡へ引越し。病院併設の介護老人保健施設にて介護主任、
デイケアの相談員として働きながら兄、母の看病。
2010年(29歳)
介護支援専門員資格取得
特養・法人の活性化のため仙台へ。10月より施設長就任。



マネジメント職としての介護職

加藤 誠さん(40歳)
介護老人保健施設
統括部長
社会福祉士 介護支援専門員

1999年(23歳)
東北福祉大学 社会福祉学部 福祉心理学科卒業
老人保健施設に相談指導員として入職。
2000年(24歳)
現施設にケアワーカーとして入職。
2001年(25歳)
支援相談員になる。
2006年(30歳)
相談室副室長に就任。
2009年(33歳)
地域管理部長に就任。
2011年(35歳)
統括部長に就任、現在に至る。



様々な経験を経て生かされる 介護という魅力ある仕事。

大学卒業時、教員採用試験を受けるも不採用。介護の資格を取得していたのでと
あえず介護の道へ、という始まりでした。身内の看護という大きな転機を経て、現職で
ある特別養護老人ホームの活性化のために仙台へ。施設長としてがむしゃらに働いて
いたところ、就任半年で東日本大震災を経験。当時、施設を一般に開放したところ、
まだまだ周知されていないことを実感。地域と連携を図る重要性を感じました。
現在は法人事務局として施設運営・経営方針の策定、特養における人事や管理
など多岐に渡る仕事をしていますが、働く環境には良好な人間関係が不可欠です。
職員のリアルな声に耳を傾け、利用者様から対応のよかった点、ダメだった点の吸
い上げを積極的に行っています。「最期のおうち」としての役割を持つこの施設では、
できるだけ一人ひとりの願いをかなえてあげたいとも思っています。
大学では、体育学、健康福祉学に基づいた多様な知識や技術はもちろんのこと、体
育大ならではのコミュニケーション能力が身に付き、介護の現場でも役立っています。
介護とは、相手が大切にしているものを大切にすること、いわゆる「尊厳」を護ることだ
と思います。共に生きて、共に学び、喜怒哀楽のある暮らしを創造する—そんな魅力
ある仕事を一緒に作っていきましょう。



入居者一人ひとりの対話を大切にします



コミュニケーションを多くとれる施設づくりを目指しています

これから大きく変革していく分野。 誰にでも活躍できる可能性がある。

大学まではスポーツに集中。社会人になる事はたいへんな責任を負うという事
にプレッシャーも感じましたが「人の役に立たなければ」との思いに至り、この
世界に入りました。
5年ほど支援相談員として従事しましたが、現在は職員の勤怠の管理や人事
の組み立てなどの『管理業務』になり、また違った形での介護職を実感して
います。
チームを俯瞰から見つめ、的確な役割分担でまとめていく必要があり、客観性
や判断力も大切です。利用者様と職員の声をよく聞き、よりよい現場づくりを
心がけています。
介護に関わる事は決して楽ではありません。介護の仕事が好き、がんばりたいと
いう感情が本気であればあるほど、ギャップや苦しみを覚えるかもしれません。
それでも、その苦勞を乗り越えた時に感じる成長や周囲の変化は他のどの仕事
にも引けを取りません。まだまだ成熟しきっていない分野です。誰にでも活躍
できる可能性があると思います。



働きやすい職場環境を目指します



安心してもらえる説明を心がけています

介護の現場で働く、ということ。

[仙台市の高齢者を取り巻く環境と将来性]

後期高齢者数の割合に変化。
介護職需要の増加が見込まれる。

仙台市における65歳以上の高齢者は236,634人。
平成37年には約277,000人になると見込まれています。
この内後期高齢者の割合は56.9%。今後もより増加
すると思われ、急速な介護職の人材育成が求めら
れています。

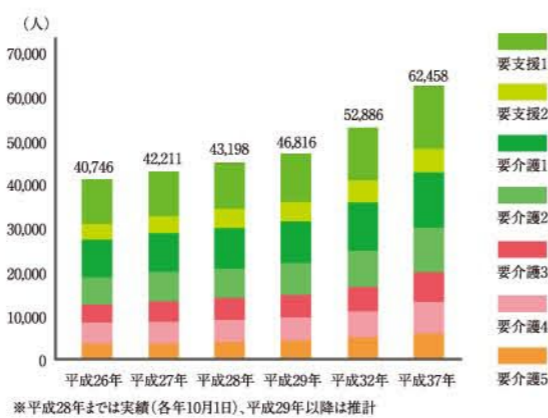
仙台市における65歳以上の方の人数
(第1号被保険者数)



「要介護認定者」も増加傾向。
必要とされる介護のスキル。

社会の高齢化にともなう「要介護等認定者数」は
平成28年10月1日現在で43,198人。65歳以上の
高齢者に占める割合は18.3%となっています。平成
37年には約62,000人になると見込まれ、介護職の
専門スキルもより必要とされるでしょう。

要介護等認定者数の推計



高齢化の進展に伴って、採用ニーズが
増えているのが介護業界です。

県内でも平成37年までに約1万3千人の介護職員を
増やす必要があると推測されています。

介護職員の需要推計(宮城県)



介護に関する情報はここからGET!

求人情報
WEBサイト
福祉のお仕事




<http://www.fukushi-work.jp/>

公益財団法人
介護労働安定センター
宮城支部



<http://www.kaigo-center.or.jp/shibu/miyagi/index.html>

頼られる喜びと
笑顔のお返し 

ちょっとした親切をしたことで
とても感謝されたり、
笑顔をもらったり。

そんな小さな嬉しさや感動が
福祉や介護の原点かもしれません。

それは、専門のスキルとは
関係ないところにあって、
いろいろな学びや経験があった方が
よい方向に進む場合もあります。

あなたの人間力や魅力が発揮でき、
《誰かのためになる仕事》が
介護の現場には、きっとあります。

